

日本海藻協会ニュース

2008年9月15日

I. 協会事務局から

1. 総会開催のお知らせ

今年度の総会を **10月10日(金) 13:00** から学士会館（東京、神田）で開催します。同日 14:00 から開催される「秋季藻類シンポジウム」と同じ会場です。会員各社のご出席をお願いします。

2. 秋季藻類シンポジウム

今年度の秋季藻類シンポジウム「**国境を越えて移動する海藻**」を **10月10日(金) 14:00** から学士会館（東京、神田）で開催します。次の通り2題の講演が行われます。（添付の広告をご参照ください。）

日本のワカメは外国の海に侵入したか —分子系統地理学的知見—

講師： 川井 浩史 氏（神戸大学教授）

流れ藻 —その生態とはたらき—

講師： 小松 輝久 氏（東京大学准教授）

参加費： 無料（但し、講演集代 1,000 円、正会員は無料）

シンポジウム終了後、17:00 から懇親会が開かれます。会費は1人 6,000 円（正会員は各社1名に限り 3,000 円）です。

参加申込みは下記事務局長宛に FAX または E-mail をお願いします。

日本海藻協会事務局長 岩元 勝昭

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11

マリン・サイエンス（株）

FAX 03-3865-3450

E-mail jsa@japan-seaweed-association.com

II. 海藻関連ニュース

1. 外食産業フェア(東京)

第 56 回外食産業フェア(東京)が 2008 年 10 月 8・9 日にサンシャインシティ文化会館(東京・池袋)で開催されます。農林水産省と東京商工会議所の後援によるものでテーマは「食を知り、食を楽しむ食祭」です。

問合せは同フェア事務局(社)日本外食品卸協会(Tel. 03-5296-7723)まで。

2. 食品開発展 2008

食品の機能性と安全性情報を一堂に集めた「食品開発展 2008」が 2008 年 10 月 15-17 日に東京ビッグサイト(東京都江東区有明)で開催されます。申込み・問合せは 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-8-3 CMPジャパン(株)内 食品開発展事務局(Tel. 03-5296-1017 FAX 03-5296-1018 E-mail f-expo@cmpjapan.com www.hijapan.info / www.stecjapan.info)へ。

3. 第 8 回アジア太平洋マリンバイオテクノロジー会議

第 8 回アジア太平洋マリンバイオテクノロジー会議(The 8th Asia-Pacific Marine Biotechnology Conference (APMBC))が 2008 年 11 月 12 日-15 日に韓国・釜山の BEXCO で開催されます。

4. 2008 年度藻類談話会

2008 年度藻類談話会が 2008 年 11 月 22 日(土) 13:00-17:00 に京都大学大学院人間・環境学研究科棟 B23 大講義室(京都市左京区吉田二本松町)で開催されます。参加費は 500 円です。談話会終了後に懇親会(会費:一般 3,000 円、学生 1,500 円)が予定されています。講演予定等を知りたい方は <http://biotech.nikkeibp.co.jp/100hpn/index.jsp> から「バイオ・基礎医学関係者の皆のホームページ」→「学会・研究会」の項目を選んで下さい。

参加申込み・問合せ先: 〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学大学院人間・環境学研究科 幡野恭子(Tel: 075-753-6854, Fax: 075-753-6694, e-mail: kyokohat@bioh.mbox.media.kyoto-u.ac.jp)

5. 国際藻類会議 2008

国際藻類会議 2008 (International Algae Congress 2008) が 2008 年 12 月 3・4 日にアムステルダムの Het West-Indisch Huis で開催されます。ワーゲニンゲン大学の藻類学者 Dr. Ir. Aalt Dijkhuizen を委員長とする会議で、藻類産業の近年の発展に力点が置かれており、科学、生産 / 加工、応用に関する 6 つのセッションでオランダ、ドイツ、フィンランド、イタリア、イスラエル、その他の国々からの発表が予定されています。また、同時開催の交易会(Trade Show)も予定されています。www.algaecongress.com, tdeboer@agriprojects.com 参照)

6. 第9回国際藻類学会議

第9回国際藻類学会議 (The 9th International Phycological Congress, IPC9) が 2009 年 8 月 2-8 日に東京代々木のオリンピック記念青少年総合センターで開催されます。経済的支援申請の締切日は 2008 年 12 月 1 日、ワークショップ申込み締切日は 2009 年 2 月 1 日、早期参加登録及び発表要旨提出の締切日は 2009 年 3 月 31 日、参加登録・宿泊・エクスカーション等の取消し期限は 2009 年 5 月 15 日です。

会議事務局： G.education Co., Ltd., Ginza 1-15-2, Chuo-ku, Tokyo
Tel. 03-3563-2890, Fax. 03-3563-2892, ipc9@ec-inc.co.jp
詳細は<http://www.ec-japan.jp/ipc9/index.html> をご覧下さい。

7. 特別展「海からの恵み海藻ー広がる未来への夢ー」(開催中)

海の博物館 (三重県鳥羽市) で特別展「海からの恵み海藻ー広がる未来への夢ー」が 9 月 23 日まで開催されています。

問合せ先：〒517-0025 鳥羽市浦村町大吉 1731-68 海の博物館
Tel 0599-32-6006(代) Fax 0599-32-5581 平賀大蔵

III. カレンダー

- 2008.7.12. - 9.23. 特別展「海からの恵み海藻ー広がる未来への夢ー」(鳥羽海の博物館)
- 2008.10.8-9. 外食産業フェア(東京) (東京・池袋 サンシャインシティ文化会館)
- 2008.10.10. 日本海藻協会総会、秋季藻類シンポジウム (東京 学士会館)
- 2008.10.15 - 17. 食品開発展 2008 (東京ビッグサイト)
- 2008.11.10 - 14. 第 5 回アジア太平洋藻類学フォーラム (ニュージーランド・ウェリントン) [→Nos.1-4]
- 2008.11.12 - 15. 第 8 回アジア太平洋マリンバイオテクノロジー会議 (韓国・釜山)
- 2008.11.22. 2008 年度藻類談話会 (京都 京大大学院人間・環境学研究科棟 B23 大講義室)
- 2008.12.3-4. 国際藻類会議 2008 (オランダ・アムステルダム)
- 2009.3. 日本藻類学会第 33 回大会 (那覇 琉球大)
- 2009.8.2 - 8. 第 9 回国際藻類学会議 (東京 オリンピック記念青年総合センター)

IV. 海藻 Q & A

Q8 — 「キラー海藻」って何？

A — 緑藻イワズタ属 (*Caulerpa*) の一種であるイチイズタ (*C. taxifolia*) で毒性を持つようになった変異型を「キラー海藻 (killer algae)」と呼んでいます。毒性に加え強い繁殖力を持ち、これを食べる動物がいないので、海産動物の産卵・保育・生息の場となる他の海藻群落を駆逐して分布域を拡大するようになりました。地中海では、1984年にモナコ沿岸の浅海域で 1 m²ほどの変異型イチイズタの群生が発見されましたが、船の錨や魚網に付着して広がり、1989年には1-2 ha、1998年には5カ国の沿岸で約 4,800 ha を占め、2003年には1,300 ha 以上に拡大したとの報告があります。北米やオーストラリアでもその分布が確認されており、日本でも1992-93年に能登半島沿岸で一時的な繁茂が見られましたが、定着したという報告はありません。

本来のイチイズタは毒性をもたず、沖縄以南の太平洋やカリブ海など熱帯・亜熱帯のサンゴ礁域に生育する海藻ですが、地中海では水族館の水槽で育てているうちに低水温耐性と毒性をもつと共に強力な繁殖力を備えた変異株が生まれ、水槽から流出したものが広がったのではないかと考えられています。

Q9 — 日本の海苔は輸出されていますか？

A — 海苔の産業的な生産は日本のほかに韓国・中国で行われています。日本における海苔生産は、現在、年間およそ 90 億枚ですが、米国、シンガポール、オランダ、台湾、香港、韓国、その他に輸出されています。2008年上半期(1~6月)の輸出货量と輸出金額ベスト3、及び輸出総合計は次の通りです。(財務省関税局貿易統計資料による)

第1位 米国—乾海苔 450.2 万枚 (8,879.1 万円)

焼・味付海苔 8,778.9 kg (12,834.8 万円)

第2位 台湾—乾海苔 309.9 万枚 (2,102.0 万円)

焼・味付海苔 4,196.1 kg (7,694.2 万円)

第3位 シンガポール—乾海苔 503.4 万枚 (3,037.2 万円)

焼・味付海苔 2,392.3 kg (4,593.9 万円)

輸出総合計—乾海苔 2,595.0 万枚 (21,979.1 万円)

焼・味付海苔 31,510.4 kg (65,757.9 万円)

輸出総合計金額は前年同期に比べて 22%増です。なお、第4位は香港、第5位は韓国、第6位はオランダです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月1回（毎月15日付で）発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F

マリン・サイエンス株式会社 内

日本海藻協会事務局

編集者：有賀祐勝 (arugay@mx4.ttcn.ne.jp)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆